



西高
だより

鼓動
Sound of Heart

山形県立酒田西高等学校
(通算第97号)
平成28年3月1日

「得意淡然 失意泰然」

校長 諸原 正巳



三年次生のみなさん。ご卒業、おめでとうございます。本校に赴任以来、みなさんとは二年間に亘り一緒に学校生活をおくりましたが、修学旅行にも一緒にでかけたし、それなりに濃い時間を共有できたのかもしれないと勝手に思っています。四日間、同じ釜の飯を食べただけでこう思ってしまうのですから、教室で毎日顔をあわせてきた仲間、とりわけ部活動で一つの目標に向けて苦楽を共にしてきた仲間は、生涯の友となり得るはずですよ。いつまでも大事にしてください。

さて、二年間、時間を見つけては朝の通学時に時間が許さず、西門のところに立ってきました。「おはようございます」とみなさんの方から先に声をかけられると、朝から心地よい気分にもなれました。最近、いつものように立っていると、ある生徒から「先生の座右の銘は何ですか」と聞かれ「得意淡然失意泰然」と応えました。この言葉、もともとは中国の故事からきており、幕末に活躍した勝海舟が好んで使ったとのことでした。事がうまく進んでいるときは傲慢になりがちなので謙虚な姿勢で、逆にうまくいかないときは泰然自若、堂々とふるまえという意味ですが、社会で生きて行く上で理想的な立居振舞の仕方だと思っています。これから先、いろいろなことに挑戦していくみなさんには、うまくいくこと、いかないことが多々あるかと思いますが、そのようなときに、この言葉を思い出してください。西高から翔き、新しいステージでどのように翼を広げていくのか楽しみにしています。

「置かれた場所で咲きなさい」

3年次主任 富樫 晃

卒業おめでとう。仲間や先生方と過ごした“濃密”な3年間。あっという間だったのではないのでしょうか。いつも傍にいた仲間と励ましあい刺激あいながら、悩みながらも少しずつ自身の道を切り拓いてきましたね。入学間もなくこの紙面に書かせていただいた私の好きな校歌の一節、「共にあり未来を拓く」。まさに、そのような高校生活だったのではないのでしょうか。かけがえのない宝物ですね。

卒業を目の前にして、これから進む道に期待する希望に満ちた眼差し、これから進む道を今まさに切り拓こうと真剣さが増した表情に、君たちの成長を感じ、頼もしく思っています。それぞれが新たなフィールドで活躍してくれることを期待しています。当然、壁にぶつかったり、思い通りにいかないときもあるでしょう。そんな時は「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を思い出すといいですよ。置かれた環境で、与えられた課題や頂いた仕事をまず誠意をこめてやり遂げる。若者らしく何にでも挑戦すること。そうすることで、今いる環境をより良く変えるヒントが見えてきたり、新たな自分の可能性に気づくことにもつながります。自戒にもします。ではまた会おう！

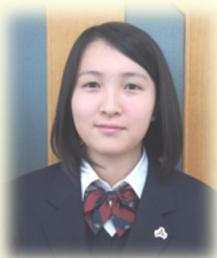


「支え合い」

卒業生 阿部優美

西高での充実した学校生活の中で、自分を支えてくれる存在の大切さを感じました。さまざまな場面で人前に立つ役割を務めてきた私は、後押しして下さる先生方や仲間のおかげで、どんな場面でも自分を貫くことができました。決して上手くいくことばかりではありませんでしたが、最後まで役割を全うできたことを誇りに思います。

これまで支えてくれた方々に感謝し、これからは私自身が誰かを支えることができる存在になりたいです。3年間ありがとうございました。



「充実した高校生活」

卒業生 渡邊奈生樹

私は3年間の西高生活の中で、たくさんの素敵な出会いや、心に残る思い出を得ることができました。日々の経験はどれも大切な事ばかりで、入学式の日に遅刻するような人間だった私を「ヒト」として大きく成長させてくれました。そして、切磋琢磨した仲間や、進路実現を目指す環境、本気で一人一人に向き合って力を貸して下さった先生方のおかげで、私は消防士としての夢の一步を叶え、卒業を迎えられました。あっという間でしたが、充実した高校生活を送れたことに感謝しています。



3年次 担任より

◇卒業おめでとうございます。早いもので入学から三年、皆さんとの三年間を一緒に過ごせたことはとても嬉しいことでした。西高祭や修学旅行、体育祭などで見せてくれたエネルギーにこちらも元気をもらえました。また新たなスタート、「若いうちの苦労は買ってでもせよ」の言葉があります。様々な経験を積んで一回りも二回りも大きく成長することを願っています。(一組担任 小林義弘)

◇ティーンエイジャーと呼ばれるのもあと少しという今、皆さんの新しい生活が始まります。高校までとは違った、大きな変化を経験する人が多いでしょう。皆さんはその環境にうまく適応し、新しい友人を作っていくと思います。その生活の意義を考えて、生活を楽しくしてください。これから世界がどう変わるかは分かりませんが、どうあっても、裕かに、聡く、逞しく進んでいってください。卒業おめでとう。(二組担任 梅津英幸)

◇卒業おめでとうございます。教室でリラックスしている皆を見ると、お互い良い関係を築いてくれたのだな、良かったなと感じます。これから進学先で、就職先で、新たな出会いが皆を待っています。不安もあるでしょうが、あまり臆せず自分らしく一歩を踏み出してくださいね。皆が良い出会いに恵まれますように。そして夢のゴールに突き進んでいけますように。皆の未来に幸多かれと心から祈っています。(三組担任 菅原祐子)

◇卒業おめでとうございます。あつという間でしたが、皆さんと共に過ごした三年間は私にとっても素晴らしい時間でした。これから就職する人、進学する人それぞれいます。束縛が少なくなり自由も増えますが、その分負うべき責任も増えます。多くの人に支えられ今日の自分があることを忘れず、感謝の気持ちを胸に物事に当たっていきましょう。皆さんがもっている笑顔という強い武器があれば大丈夫です!(四組担任 高橋直人)

◇みんなと過ごした日々、本当に楽しかった!掃除の時間の小さな会話、真剣な進路相談、化学の問題。行事もですが、何気ない毎日のみんなの様子がいちばんの思い出です。これからも、当たり前、ありがたひに毎日に感謝し、小さな努力を丁寧に積み重ねて素敵な人生を作ってください。生きている間にいろいろな経験もするし、いろいろな失敗もするし、いろいろな喜びもある。その中で、ずっとずっと、素直でがんばりやのみなさんでいてください。また会える日が楽しみです。卒業おめでとう。YST!!

(五組担任 岩澤智子)



美術・書道 修了作品展

芸術コース(美術選択生)と書道選択生(三年生)による作品展が、一月二十三日(三十日)に開催され、六百数十名より来場頂きました。デッサンやデザイン、心象表現、軸装・額装・和綴による臨書各作品等四十八点の展示となり、「丁寧に作品の説明を頂き楽しく見せてもらった」、「生徒さんのエネルギー頂いています」、「もう少し書道見たかった」、はたまた「独創性もつとほしい」等沢山の貴重な感想を頂きました。鑑賞者を意識した作品制作、来場者との様々なコミュニケーション、作品を他人に解説する大変さやワクワク感、多くの励ましや感謝の言葉など、選択生にとって貴重な活動となったようです。



センター試験直前の1月16日、激励会を実施しました。校長、PTA役員の挨拶、公務員等進路決定者からの千羽鶴贈呈、教職員の激励メッセージスライドショー、3年担任団の寸劇による当日注意事項など、緊張感を解す内容の激励も送られ、受験生からは「絶対合格します!」という強い決意が表明されました。

センター試験 激励会 3年次



代表者決意表明



3年次担任団

社会問題探究 2年次

2年次は昨年の12月より取り組んできた社会問題探究についての発表会を行いました。限られた時間を一杯使い、真剣に取り組んできました。興味関心を引くようなタイトルを考えたり、発表用紙の表記を工夫したり、班ごとアイデアを出し合い発表しました。1年生の前で発表するのは緊張したようでしたが、皆しっかりと出来ていたようです。発表を終えた生徒たちの笑顔が、取り組みの充実を物語っていたと思います。ここで調べ、発表したことが、様々な意味で3年次での進路実現に生きることでしょう。



ビブリオバトル 1年次



1年次は総合学習2時間を使って、読書会を行いました。形式は「ビブリオバトル」。みんなで集まって各自5分間、読んで面白かった本を紹介。その後、読みたくなった本を投票(チャンプ本)して決定する、スポーツのような書評会を行いました。本の紹介の場面では面白かったことを話するだけでなく、聞き手にいかに「読みたい」と思わせるか、様々な工夫が多くみられました。最後にはクラスのチャンプ本を決めるまで至り、充実した読書会となりました。